

製品名: オプチニューリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86921**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW:66 kDa; Observed MW:75 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | Optineurin |
| 別名 | NRP; FIP2; HIP7; HYPL; ALS12; GLC1E; TFIIIA-INTP |
| 遺伝子ID | 10133 |
| SwissProt ID | Q96CV9 |
| 免疫原 | ヒトオプティニューリンの組み換えタンパク質 |

背景

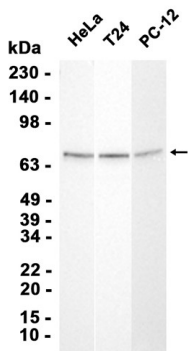
この遺伝子は、コイルドコイル構造を有するタンパク質オプチニューリンをコードしています。オプチニューリンは、正常眼圧緑内

障および成人発症型原発開放隅角緑内障において役割を果たしている可能性があります。オプチニューリンはアデノウイルス E3-14.7K タンパク質と相互作用し、腫瘍壊死因子 α または Fas リガンド経路を利用してアポトーシス、炎症、または血管収縮を誘導する可能性があります。また、オプチニューリンは、RAB8、ハンチンチン、および転写因子 IIIA タンパク質との相互作用を通じて、細胞形態形成、膜輸送、小胞輸送、および転写活性化にも機能する可能性があります。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



オプティニューリンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、T24、PC-12 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。